

科目名	絵本の指導				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力					

《授業の概要》

子どもが興味・関心を持つ絵本から、その魅力を取り入れながら、実際に絵本の内容を構成し、絵や言葉を熟選して創作絵本を制作する。また、0歳から2歳児を対象にした「絵本の読み聞かせ」と3歳から5歳児を対象にした「絵本の読み語り」の技術を身につける。

《テキスト》

なし

《参考図書》

資料は随時配布する。

《授業の到達目標》

- ・造形、色彩表現の基礎を絵本制作に活かし、表現力を高める。
- ・子どもの持つ感受性を引き出せるような、意外性や感受性を大切にする。
- ・絵本発表および読み聞かせ、読み語りを通して、プレゼンテーションの力を養う。

《授業時間外学習》

- ・日頃から子ども理解につとめ、造形・色彩分野に興味や関心を持ち、様々な絵本に触れておく。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
 - ・学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
 - ・最終課題(発表やレポート)の内容 30%
- 上記から総合的に評価する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の授業内容を概説、評価や授業の方法についてのガイダンス
2	絵本の調査	子ども目線で興味・関心を持てる絵本を調査する
3	絵本の調査・分析	子ども目線で興味・関心を持てる絵本の特長を分析する
4	創作絵本の制作① (3歳未満児)	構想・アイデアスケッチを行う
5	創作絵本の制作② (3歳未満児)	制作
6	創作絵本の制作③ (3歳未満児)	制作と絵本の読み聞かせリハーサル
7	創作絵本の制作① (3歳以上児)	構想・アイデアスケッチを行う。
8	創作絵本の制作② (3歳以上児)	制作
9	創作絵本の制作③ (3歳以上児)	制作と絵本の読み語りリハーサル
10	発達段階と絵本 (情報機器を使って)	意外性のある絵本から学ぶ
11	仕掛けのある絵本の制作 ①	構想・アイデアスケッチを行う
12	仕掛けのある絵本の制作 ②	制作
13	仕掛けのある絵本の制作 ③	制作・製本
14	絵本の発表	3歳未満児・3歳以上児・仕掛けのある絵本の総合発表
15	まとめ	授業の振り返りと、自己表現力と子どもの感性を高めるためのレポート作成